感染症発生動向調査
2020年第33週
（8月10日～8月16日）

京都市感染症週報

京都市感染症情報センター
（京都市衛生環境研究所）

http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000175159.html

◆ 今週のコメント

・ **新型コロナウイルス感染症**の報告が105例（男性49例（10歳代4例，20歳代11例，30歳代6例，40歳代5例，50歳代11例，60歳代5例，70歳代4例，80歳代2例，90歳代1例），女性54例（小学生1例，10歳代5例，20歳代25例，30歳代7例，40歳代4例，50歳代4例，60歳代2例，70歳代4例，80歳代2例），未就学児2例（年齢性別非公開））あり，累積報告数は801例となりました。本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。

〇新型コロナウイルス感染症　最新の動向
https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html

〇京都市衛生環境研究所にゅーす　令和2年度　第1号（通巻139号）（特集！ 新型コロナウイルス感染症！）
https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000175/175313/news2020-01.pdf

・ **レジオネラ症（肺炎型）**の報告が1例（70歳代男性）あり，症状は発熱等，感染地域は国内，感染経路は水系感染です。本年の累積報告数は8例となりました。

・ **急性脳炎**の報告が1例（50歳代女性）（第31週追加報告分）あり，症状は意識障害等です。感染地域は国内，感染経路は不明です。本年の累積報告数は4例となりました。

・ **梅毒**の報告が1例（20歳代女性）（第31週追加報告分）あり，感染地域は国内，感染経路は不明です。本年の累積報告数は40例となりました。

梅毒の感染経路はほとんどが性的接触です。不特定多数との性的接触を避け，コンドームの使用などの予防策をとってください。重症化及び感染拡大を防ぐためには早期発見，早期治療が非常に重要です。

◆ 今週のトピックス：＜ヘルパンギーナ＞

京都市のヘルパンギーナの定点当たり報告数は，前週の0.19（8例）から減少し，0.05（2例）となりました。全国では前週0.73から減少して0.39となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

・ **二類：結核　3例（肺結核 3例，その他結核 なし，潜在性結核感染者 なし）うち喀痰塗抹陽性 なし**
【1月以降の累積報告数 158例（肺結核 75例，その他結核 30例，潜在性結核感染者 53例）うち喀痰塗抹陽性 33例】
・ **指定感染症：新型コロナウイルス感染症 105例**【1月以降の累積報告数 801例】
・ **四類：レジオネラ症 1例**【1月以降の累積報告数 8例】
・ **五類：急性脳炎 1例**【1月以降の累積報告数 4例】
・ **五類：梅毒 1例**【1月以降の累積報告数 40例】

定点把握の主な感染症

（市内定点数　インフルエンザ定点69，小児科定点43，眼科定点10，基幹定点1）

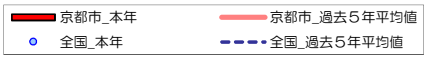
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ	インフルエンザ	0．00	0
小児科	① 感染性胃腸炎	0．86	37
（降順5位まで）	② 突発性発しん	0．26	11
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0．23	10
	④ 咽頭結膜熱	0．19	8
	⑤ 手足口病	0．05	2
	⑤ ヘルパンギーナ	0．05	2
眼科	流行性角結膜炎	0．10	1

【次ページ以降の主な内容】

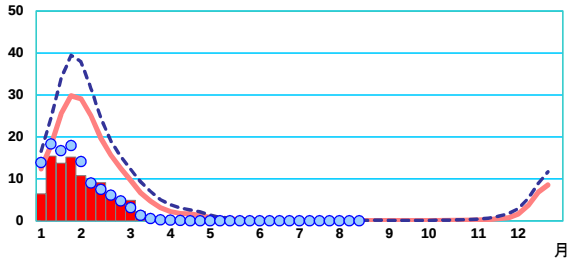
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス：＜ヘルパンギーナ＞
付表（疾病，行政区別報告数 / 年齢階級，疾病別報告数 / 週，疾病別報告数）

（注）京都市のデータは，2020年8月19日現在の報告数で，全国の還元データと若干異なる場合があります。
また，本情報での患者数は，届出医療機関所在地での集計で，患者の住所を示すものではありません。
※ 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

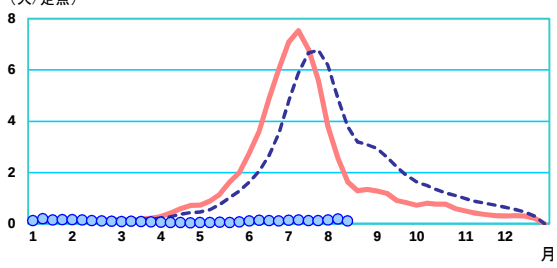
ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2020年）



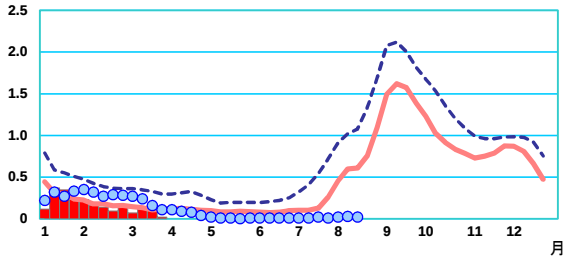
インフルエンザ



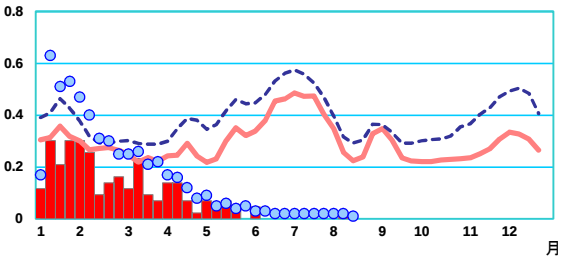
手足口病



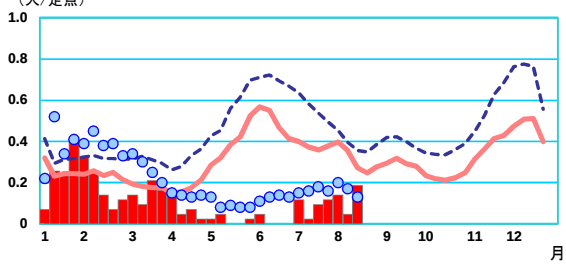
RSウイルス感染症



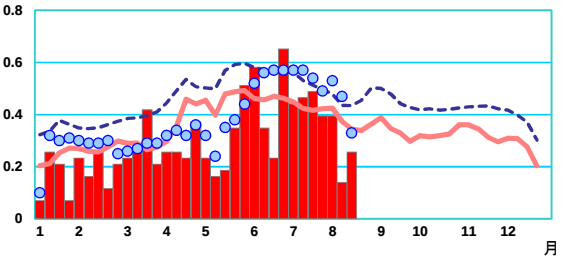
伝染性紅斑（りんご病）



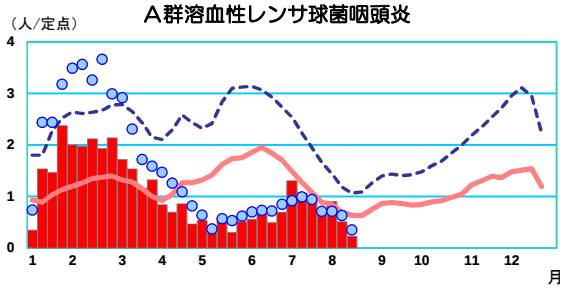
咽頭結膜熱（プール熱）



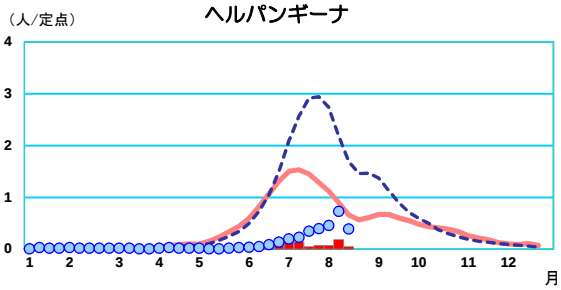
突発性発しん



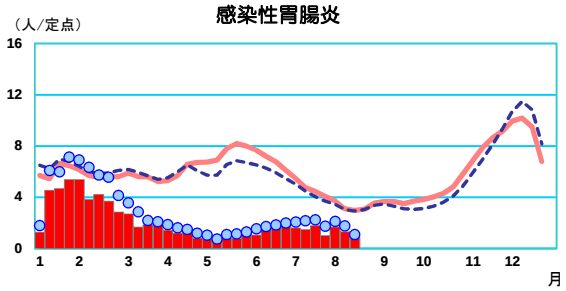
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



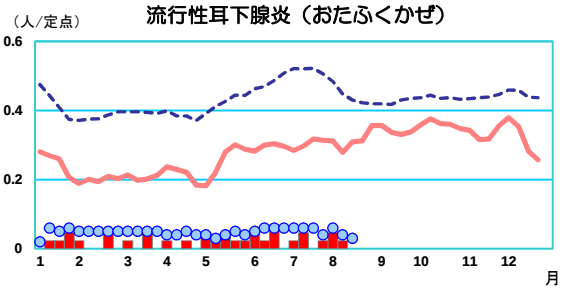
ヘルパンギーナ



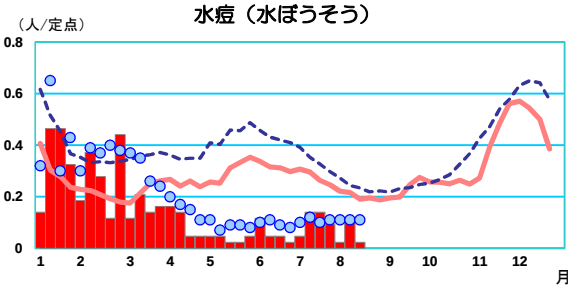
感染性胃腸炎



流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）



水痘（水ぼうそう）

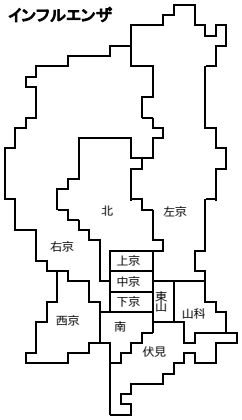


インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図　【２０２０年 第 33 週】

発生なし
発生あり
注意報
警報
（注意報及び警報の基準値は感染症右側に表示（「-」は設定なし））

※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがいまして，定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や「規模の大小の影響を受ける場合がありますので，ご注意ください。

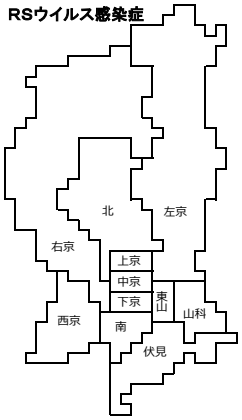
インフルエンザ



警報開始 30
警報終息 10
注意報 10

京都市 0.00	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

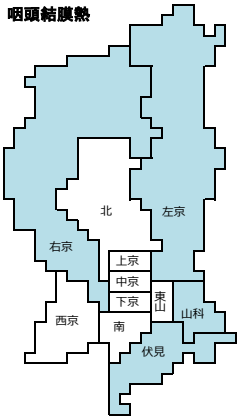
RSウイルス感染症



警報開始 -
警報終息 -
注意報 -

京都市 0.00	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

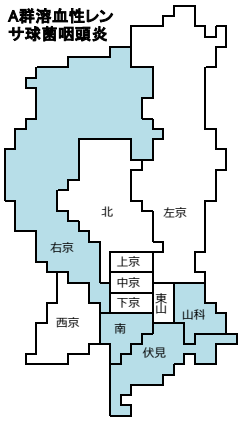
咽頭結膜熱



警報開始 3
警報終息 1
注意報 -

京都市 0.19	
北	0
上京	0
左京	0.25
中京	0
東山	0
山科	0.20
下京	0
南	0
右京	0.80
伏見	0.29
西京	0

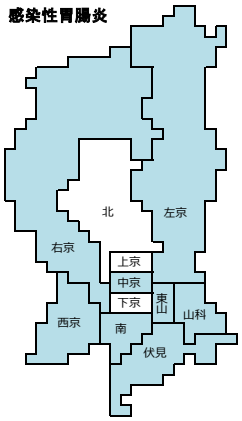
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



警報開始 8
警報終息 4
注意報 -

京都市 0.23	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0.40
下京	0
南	0.33
右京	1.20
伏見	0.14
西京	0

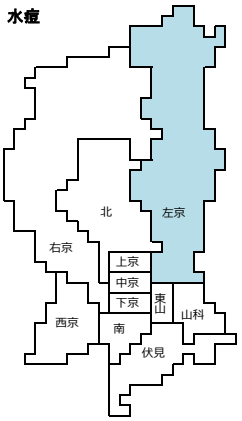
感染性胃腸炎



警報開始 20
警報終息 12
注意報 -

京都市 0.86	
北	0
上京	0
左京	1.75
中京	0.33
東山	1.00
山科	1.60
下京	0
南	1.33
右京	0.20
伏見	1.86
西京	0.20

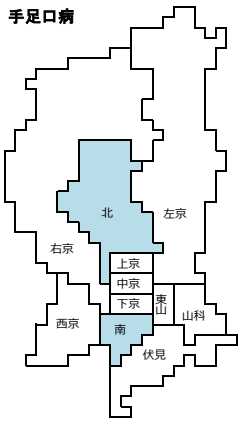
水痘



警報開始 2
警報終息 1
注意報 1

京都市 0.02	
北	0
上京	0
左京	0.25
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

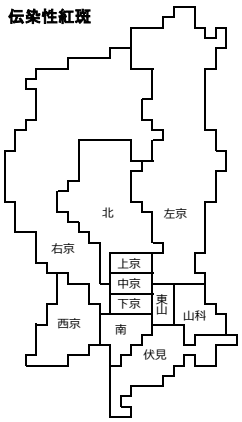
手足口病



警報開始 5
警報終息 2
注意報 -

京都市 0.05	
北	0.25
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0.33
右京	0
伏見	0
西京	0

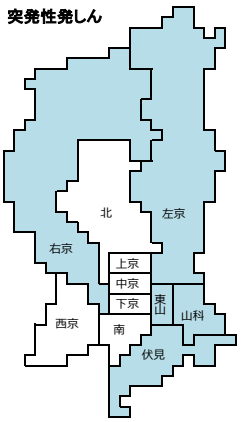
伝染性紅斑



警報開始 2
警報終息 1
注意報 -

京都市 0.00	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

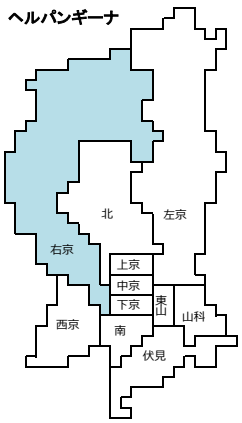
突発性発しん



警報開始 -
警報終息 -
注意報 -

京都市 0.26	
北	0
上京	0
左京	0.25
中京	0
東山	1.00
山科	0.40
下京	0
南	0
右京	0.20
伏見	0.71
西京	0

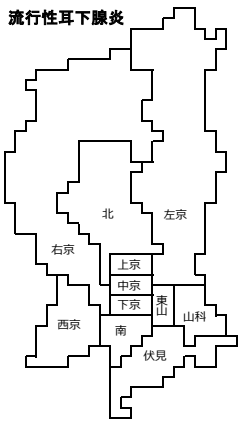
ヘルパンギーナ



警報開始 6
警報終息 2
注意報 -

京都市 0.05	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0.40
伏見	0
西京	0

流行性耳下腺炎



警報開始 6
警報終息 2
注意報 3

京都市 0.00	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

第33週（8月10日～8月16日）トピックス：＜ヘルパンギーナ＞

京都市のヘルパンギーナの定点当たり報告数は，前週の0.19（8例）から減少し，0.05（2例）となりました。全国では前週0.73から減少して0.39となりました。全国では前週まで緩やかな増加傾向が見られましたが，京都市及び全国とも過去5年平均値と比較してかなり低く推移しています（図1）。

ヘルパンギーナは年ごとに報告数の違いはあるものの，これまでの発生のピークは7月から8月にかけてで，毎年一定しています。しかしながら，本年の発生状況を見ると，京都市及び全国とも，過去10年で最も低い状態で推移しており，京都市ではピークと呼べる高まりの形成が見られないような状況です（図2）。

一方，第30週以降の全国の発生状況を都道府県別に色分けし，発生の少ない場合を薄い色で，多い場合を濃い色で地図上に表して見ると，近畿地方より東ではおおむね発生が少ないのに対し，九州地方では発生の多い県が見られ，前週までは週を追うごとに色が濃くなり，発生数が増加していたことが見て取れます（図3）。九州地方では第26週頃から報告数が増え始め，第32週には佐賀県及び熊本県で警報基準値の6を超えました。両県では第33週も警報状態が継続しており，九州地方での発生が多い状態が続いています。

ヘルパンギーナは，乳幼児を中心に夏季に流行するいわゆる「夏かぜ」の代表的疾患で，例年5歳以下の乳幼児が全体の9割前後を占めます。症状は発熱，口腔粘膜にあらわれる水疱性の発疹が特徴で，主にコクサッキーウイルスA群を原因として発症します。潜伏期間は2～4日で，突然，39～40℃の発熱が2～4日間続きます。咽頭痛，咽頭粘膜の発赤のほか，口腔内には直径1～2mmほどの小水疱が出現し，疼痛を伴います。

本年は報告が少ないとは言え，保育所などの小児の集団では局所的な流行の可能性があります。感染予防としては，患者との濃厚接触を避けることと，うがいや手洗いを心掛けることです。特に，保育施設では職員等が正しく手洗いをすることが大切です。回復後も2～4週間，便にウイルスが含まれますので，トイレやおむつ交換の後などは特に手洗いを十分に行いましょう。

図１　京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

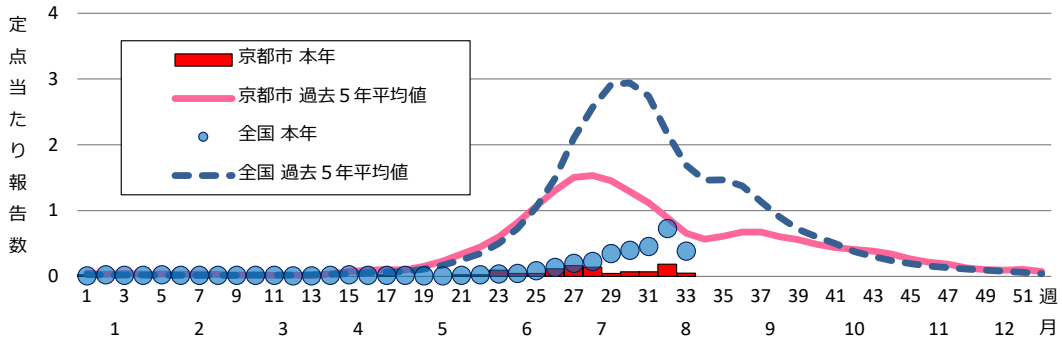


図２　京都市及び全国の過去１０年及び本年の推移

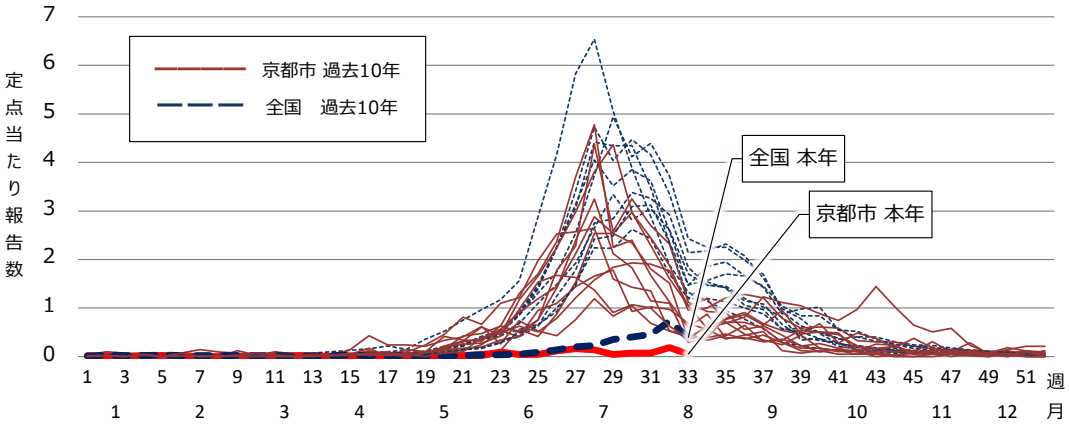
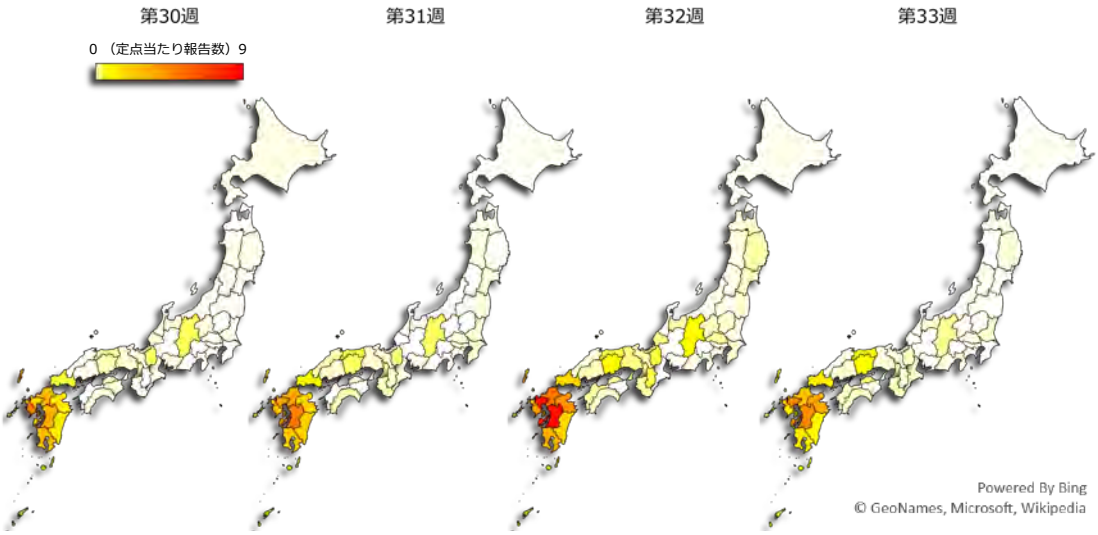


図３　全国の都道府県別推移マップ（第30週から第33週）



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第33週

疾病,行政区別報告数　　2020年8月10日～2020年8月16日　　データ入手日:2020年8月19日

男女合計	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
北	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－					
上京	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1					
左京	－	－	1	－	7	1	－	－	1	－	－	－	－					
中京	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
東山	－	－	－	－	2	－	－	－	2	－	－							
山科	－	－	1	2	8	－	－	－	2	－	－	－	－					
下京	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－							
南	－	－	－	1	4	－	1	－	－	－	－							
右京	－	－	4	6	1	－	－	－	1	2	－	－	－					
伏見	－	－	2	1	13	－	－	－	5	－	－	－	－					
西京	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－					
京都市計	－	－	8	10	37	1	2	－	11	2	－	－	1	－	－	－	－	－

疾病,行政区別定点当たり報告数

男女合計	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
北	－	－	－	－	－	－	0.25	－	－	－	－	－	－					
上京	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1.00					
左京	－	－	0.25	－	1.75	0.25	－	－	0.25	－	－	－	－					
中京	－	－	－	－	0.33	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
東山	－	－	－	－	1.00	－	－	－	1.00	－	－							
山科	－	－	0.20	0.40	1.60	－	－	－	0.40	－	－	－	－					
下京	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－							
南	－	－	－	0.33	1.33	－	0.33	－	－	－	－							
右京	－	－	0.80	1.20	0.20	－	－	－	0.20	0.40	－	－	－					
伏見	－	－	0.29	0.14	1.86	－	－	－	0.71	－	－	－	－					
西京	－	－	－	－	0.20	－	－	－	－	－	－	－	－					
京都市計	－	－	0.19	0.23	0.86	0.02	0.05	－	0.26	0.05	－	－	0.10	－	－	－	－	－

※1 インフルエンザは，鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが，新型インフルエンザのうち，A/H1N1については含む。
※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌，肺炎球菌，インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。
※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第33週

年齢階級，疾病別報告数

2020年8月10日～2020年8月16日

データ入手日:2020年8月19日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
咽頭結膜熱		8	－	1	5	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		10	－	－	1	2	1	1	2	－	－	1	1	－	1	－						
感染性胃腸炎		37	－	2	6	4	1	2	2	1	3	2	5	4	3	2						
水痘	年齢3	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－						
手足口病		2	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
伝染性紅斑		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
突発性発しん		11	－	5	5	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		2	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－						
流行性耳下腺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				

年齢階級，疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
咽頭結膜熱		0.19	－	0.02	0.12	－	－	－	0.05	－	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.23	－	－	0.02	0.05	0.02	0.02	0.05	－	－	0.02	0.02	－	0.02	－						
感染性胃腸炎		0.86	－	0.05	0.14	0.09	0.02	0.05	0.05	0.02	0.07	0.05	0.12	0.09	0.07	0.05						
水痘	年齢3	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.02	－	－						
手足口病		0.05	－	－	0.05	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
伝染性紅斑		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
突発性発しん		0.26	－	0.12	0.12	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		0.05	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.02	－	－						
流行性耳下腺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		0.10	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.10	－	－	－	
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				

※1 インフルエンザは，鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが，新型インフルエンザのうち，A/H1N1については含む。
※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌，肺炎球菌，インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。
※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第33週

週, 疾病別報告数　　データ入手日:2020年8月19日

京都市　　男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	–	–	–	–	–	–
RSウイルス感染症	–	–	–	–	–	–
咽 頭 結 膜 熱	1	4	5	6	2	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	46	41	29	39	22	10
感染性胃腸炎	64	76	43	72	56	37
水　　痘	6	6	4	1	5	1
手 足 口 病	2	1	4	7	3	2
伝 染 性 紅 斑	–	–	–	–	1	–
突発性発しん	20	21	17	17	6	11
ヘルパンギーナ	6	2	3	3	8	2
流行性耳下腺炎	2	–	1	2	1	–
急性出血性結膜炎	–	–	–	–	–	–
流行性角結膜炎	3	–	1	4	2	1
細菌性髄膜炎 (※2)	–	–	–	–	–	–
無菌性髄膜炎	–	–	–	–	–	–
マイコプラズマ肺炎	–	–	–	–	–	–
クラミジア肺炎 (※3)	–	–	–	–	–	–
感染性胃腸炎 (※4)	–	–	–	–	–	–
合　　計	150	151	107	151	106	72

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市　　男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	–	–	–	–	–	–
RSウイルス感染症	–	–	–	–	–	–
咽 頭 結 膜 熱	0.02	0.09	0.12	0.14	0.05	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.07	0.95	0.67	0.91	0.51	0.23
感染性胃腸炎	1.49	1.77	1.00	1.67	1.30	0.86
水　　痘	0.14	0.14	0.09	0.02	0.12	0.02
手 足 口 病	0.05	0.02	0.09	0.16	0.07	0.05
伝 染 性 紅 斑	–	–	–	–	0.02	–
突発性発しん	0.47	0.49	0.40	0.40	0.14	0.26
ヘルパンギーナ	0.14	0.05	0.07	0.07	0.19	0.05
流行性耳下腺炎	0.05	–	0.02	0.05	0.02	–
急性出血性結膜炎	–	–	–	–	–	–
流行性角結膜炎	0.30	–	0.10	0.40	0.20	0.10
細菌性髄膜炎 (※2)	–	–	–	–	–	–
無菌性髄膜炎	–	–	–	–	–	–
マイコプラズマ肺炎	–	–	–	–	–	–
クラミジア肺炎 (※3)	–	–	–	–	–	–
感染性胃腸炎 (※4)	–	–	–	–	–	–
合　　計	3.72	3.51	2.57	3.82	2.62	1.75

※1 インフルエンザは, 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが, 新型インフルエンザのうち, A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌, 肺炎球菌, インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。